

関川村ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素実質排出ゼロに向けて～

関川村は、新潟県の北東部に位置し、飯豊連峰や朝日連峰、櫛形山脈に囲まれた盆地で、中央には清流荒川が流れている自然豊かな村です。荒川沿いには5つの温泉が湧き、「えちごせきかわ温泉郷」を形成しています。また、国の重要文化財「渡邊邸」をはじめとした18世紀の町並みが残り、生活の中に歴史がとけ込んでいます。

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発しています。当村においても、令和4年8月3日から4日にかけての記録的な集中豪雨により、浸水被害が発生するなど村民の暮らしに大きな影響を与えています。このまま温室効果ガスの増加が続けば、異常気象の増加や農産物の品質低下など、様々な悪影響を及ぼす恐れがあります。

そのため、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化し、豊かな自然を次世代へ引き継いでいく必要があります。

そこで、当村の豊富な自然エネルギー資源を活用して脱炭素化に取り組み、地球温暖化対策を通じて地域課題の解決につなげていきます。

村民の暮らしを豊かにし、持続可能なむらづくりの実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。



令和6年4月1日

関川村長 加藤 弘